

参加申込は、
社会教育課
国体推進係
☎ 32-7553
まで！

2020年「燃ゆる感動かごしま国体」目指し 今年もフェンシング教室開講！



1／垂水市フェンシング連盟：神川工樹先生の指導の様子 2／国体・フェンシングの学習の様子 3／試合を体験している様子

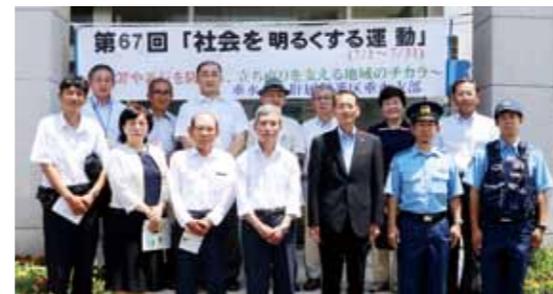
6月17日（土）、たるみずフェンシング教室（主催：垂水市教育委員会）が、垂水中央運動公園体育館にて開講され、19名が参加しました。本取組は、2020年の国体において、本市でフェンシング競技が行われることから、競技に親しみ、選手を育てることを目的として、平成27年度から行っているものです。今年度1回目の教室では、国体やフェンシングについての学習や、試合形式の体験が行われました。参加者からは、「相手の体を突くのが難しかったです。でも、点を入れたら、とっても楽しかったです」と、フェンシングの魅力を実感する機会となりました。フェンシング教室参加者を随時募集しています。

7月6日（木）、大隅地区漁業士会による魚の捌き方教室が垂水高等学校で行われました。漁業士とは、地域で指導的役割を担う漁業者のことです。本取組は、漁業士が大隅の魚の紹介と魚のさばき方を教えることで魚食普及の推進を図ることを目的に行われています。今回は垂水高校生活デザイン科の2年生を対象に、地元漁業士の篠原重人さんと川畑興文さんがさばき方の指導を行いました。生徒たちは熱心に指導を聞き、実習では、上手に魚をさばいていました。



地元漁業士の 魚の捌き方教室

社会を明るくする運動出発式



▲出発式には、垂水幹部派出所の皆さん・市内学校関係者の皆さんも参加されました。

7月3日（月）「第67回社会を明るくする運動」の出発式が、市役所正面玄関前で行われました。本運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとするものです。垂水市保護司会の藏ヶ崎純夫会長は「垂水市で犯罪や非行を減らし、新たに犯罪者が出ないようにしましょう。また、犯罪や非行をした人が再び罪を犯さないよう地域の方々をはじめ地域社会で支えていきましょう」とあいさつされました。

夏休みの理科作品に向け 標本づくり講習会



7月1日（土）、植物・昆虫・貝・岩石の標本づくり講習会（主催：垂水市教育委員会）を垂水市市民館にて実施し、市内児童生徒・保護者約50人が集まりました。各専門の講師の先生をお招きし、午前中は屋外に出て採集活動の講習を、午後は標本づくりの講習を行いました。標本づくりでは、はじめは難しそうにしていた児童・生徒たちも、講師の先生方の指導により、講習が終わる頃にはとても上手になっていました。また、8月21日（月）には、標本名付け会を実施いたします。

7月5日（水）、「垂水市さわやかあいさつ運動」推進標語の表彰式が、市長室にて行われ、木原颯甫くん（柘原小1年）の標語が選ばれました。本取組は、さわやかあいさつ運動の意識向上のため実施されたものです。木原くんは、標語について「友達や、先生、地域の方に、おはようあいさつをして、にこにこの花がいっぱいさいたらいいと思います」と話してくれました。

■平成29・30年度受賞標語

「おはようと にこにこのたね まきましよう」



さわやかあいさつ運動の 標語が決定しました！